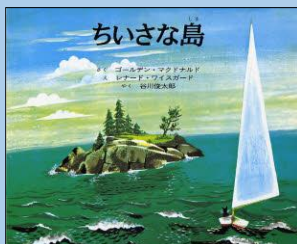


2025年
中学生

夏休みにおすすめの本



『ちいさな島』 ゴールデン・マクドナルド 作 レナード・ワイスガード 絵
谷川俊太郎 訳 童話館出版

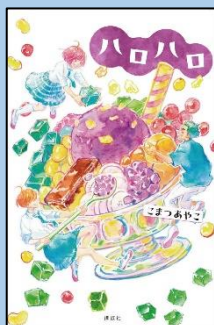
大きな海のまん中に小さな島がありました。島のまわりでは魚が泳ぎ、草花や木の
実がたわわに実ります。ある日、家族と一緒に船でやってきたこねこが言いました。
「ここはちっぽけな島で、地面からも切り離されているね。」でもすべての地面は海の
下でもひとつにつながっていたのです。小さな島は世界につながりながら自分の世
界をしっかり持ってそこにいられることに喜びを感じるのです。 【E ワイ】



『月白青船山』 朽木祥 作 岩波書店

夏休み、鎌倉の大叔父さんのお屋敷に預けられた、中学生の兵吾と5年生の主税。
兄弟は犬のダンを連れた少女、静音と知り合います。ある日、三人は切り通しの道を
滑り降りる遊びをしていて、“時間が止まった”不思議な谷に迷い込み、谷の住人たち
から、「失われた瑠璃を探してほしい」と頼まれてしまいます。三人が力をあわせて調
べていくうちに、不思議な谷の事情には、源頼朝の長女・大姫と、木曾義仲の息子、木
曾義高の悲恋が、複雑に絡みあっていることがわかってきたのですが…。

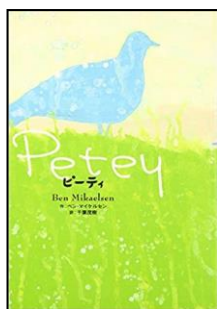
【K913 クツ】



『ハロハロ』 こまつあやこ 著 講談社

高校生になったのの花は、お母さんに誘われてオンライン英会話レッスンを始めま
す。そこで出会ったフィリピン人のジョシュア先生が気になって、フィリピンの生活や食
べ物、昔話に興味を持ち始めます。フィリピン人の母親を持つ同じクラスの風羽ちゃん
と仲良くなり、クッキング部に入部したのの花は、市民プレイスの縁日でフィリピンの昔
話を語ることになります。果たして、上手く語ることができるのでしょうか？

のの花の世界が広がっていく様子に爽やかな読後感を抱きます。 【YA F コマ】



『ピーティ』 ベン・マイケルセン 作 千葉茂樹 訳 鈴木出版

ピーティは生まれつき重い知的障害をもった子どもでした。母親サラは最初の2年間
ピーティのために全力を注ぎますがどうにもならず、とうとう専門施設に預けることに
します。ピーティは長い退屈な施設の生活の中でいろいろな人と出会い、またたくさん
の別れを経験します。重度の障害を背負いながらも、目にするものや耳にするものすべ
てに喜びと驚きを見つけながら短い人生を生ききったピーティの物語は、読む者の胸
を静かに打ちます。 【K933 マイ】



『楽園のつくりかた』 笹生陽子 作 講談社

中二の夏休みに突然お母さんから言いだされた引越し宣言に、優は反発しますが空しく敗退し、私立の受験校から村立の生徒総数16名の中学校へ転校することになってしま
います。そこは海外に単身赴任しているお父さんの故郷で、一人で暮らすおじいちゃん
との同居生活が待っていました。田舎から飛び出たくて虚栄をはる優でしたが、現実
を受け入れた時、その場所はかけがえのない楽園に変わっていました。

【K913 サソ】